

投票率向上に関する報告書(概要)

現状

- ・ 若者の政治に対する関心が低い
- ・ 県民の選挙に対する関心が低い
- ・ 居住年数が短い人や通勤・通学場所が県外の人が多く、居住地に対する愛着度が低い
- ・ 県民の高齢化が進行している
- ・ 大規模な自然災害や危険性が高い感染症が発生し、投票行動を阻害している

課題

- 若者の政治への関心を高めること
 - ・ 政治に無関心な人の投票率は低い
- 選挙への関心を高めること
 - ・ 投票しなかった理由として「選挙にあまり関心がない」という人が多い
- 居住地に対する愛着を高めること
 - ・ 愛着度が低い人の投票率は低い
- 高齢者への対応を強化すること
 - ・ 70代後半で投票率が下がる
- 大規模な自然災害や感染症などへの新たな対応策を推進すること
 - ・ 台風や新型コロナウイルス感染症発生時の投票率は低い

今後の方向性と具体的な取組

- 出前講座や選挙カレッジ、SNSなどの事業拡大
- 新型コロナウイルス感染症などへの適切な対応
- 選挙啓発活動におけるデジタル化技術の活用

方向性① 地域への関心の向上

住んでいる地域に目を向け政治や選挙を身近に感じてもらう

- ・ 参加型事業の継続と拡大
- ・ インパクトのある啓発と全庁的な連携の推進
- ・ 選挙の重要性と制度に関する知識の周知
- ・ 市区町村や明るい選挙推進協議会との連携

方向性② 若者に対する啓発の強化

依然として低投票率である若者に向けた啓発を強化する

- ・ 出前講座の拡大
- ・ 選挙カレッジ活動の拡大
- ・ SNSの充実

方向性③ 安心して投票できる環境の整備

誰もがどのようなときでも安心して投票できる環境を整備する

- ・ 高齢者が利用できる制度の周知
- ・ 自然災害や感染症などに向けた対応策の確立
- ・ 期日前投票所の増設
- ・ 不在者投票指定施設における投票の啓発

具体的な取組

方向性	これまで	今後
参加型事業の継続と拡大	継続 クイズやグループワークの実施 ・出前講座への導入	
	選挙啓発イベントの実施 ・夏休み親子参加イベント 「議事堂見学会と投票体験」 ・プログラミング教育を活用した親子向け啓発イベント	拡大 参加型事業の増加 ・参加型選挙啓発イベントの増加
	啓発対象者とコミュニケーションがとれる事業の実施 ・「#補選で埼玉」ツイッターキャンペーン	拡大 啓発対象者とコミュニケーションがとれる事業の増加 ・SNSを活用した事業増加
インパクトのある啓発の推進	継続 幅広い世代に流行するものを活用した啓発活動の実施 ・「翔んで埼玉」など流行するものとコラボした啓発活動 ・黒板アートなどを活用した啓発活動	
	継続 SNSの拡散性を利用した啓発活動の実施 ・啓発動画のYouTube公開	
全庁的な連携の推進	継続 啓発ポスターの掲出や啓発資材の配布 ・庁舎内でのポスター掲出や資材配布	
	各課所とのSNSの連携 ・選挙を啓発する投稿のリツイート依頼	拡大 各課所とのSNSの連携強化 ・各課所のSNSと連携した事業の増加
選挙の重要性と制度に関する知識の周知	教育局との連携 ・教育局主催会議における学校への出前講座活用依頼	拡大 教育局との連携強化 ・出前講座資料についての意見交換
		新規 ポスターコンクールの応募者数増加 ・ポスターコンクール表彰式の開催
	継続 制度に関する知識の周知 ・啓発チラシや出前講座における周知、啓発DVDの貸出	
	候補者情報の周知 ・選挙公報のHP掲載	拡大 候補者情報の周知強化 ・選挙公報のHP掲載に関する周知充実

地域への関心の向上

方向性		これまで	今後
地域への関心の向上	住民票異動に関する啓発の強化	継続 高校3年生や大学新入生に向けた周知 ・チラシの配布	新規 県内企業の新入社員に向けた周知 ・チラシの配布
		継続 県で作成した啓発動画や資材の活用 ・啓発動画や資材の提供 ・市区町村との街頭啓発の合同実施	拡大 市区町村とのSNSの連携強化 ・市区町村のSNSと連携した事業増加
	市区町村との連携 市区町村とのSNSの連携 ・選挙を啓発する投稿のリツイート依頼	新規 市区町村との情報共有効率化 ・オンライン会議の導入	
	明るい選挙推進協議会の活性化	継続 出前講座参加への働き掛け ・明るい選挙推進員研修会における働き掛けの実施	新規 活動の活性化への働き掛け ・他団体活動事例の情報提供
		継続 実施に向けた市区町村への支援 ・講義資料や模擬投票用紙の提供	拡大 実施対象の拡大 ・大学や企業への出前講座活用依頼
	若年に対する啓発の強化	選挙啓発出前講座の拡大 継続 感染症予防対策の実施 ・模擬投票時の使い捨て鉛筆使用など	新規 出前講座のデジタル化 ・Zoom等の活用
		継続 実施数の増加 ・教育局主催会議における学校への出前講座活用依頼	

方向性	これまで	今後
若年に対する啓発の強化	継続 選挙カレッジの活動充実 ・大学の学園祭における啓発活動 ・SNSの投稿文作成	
		新規 新たな取組の企画 ・SNSを活用した新たな事業
		新規 新たな啓発資材の作成 ・常時啓発用の新たな啓発資材
	拡大 カレッジ生募集活動の実施 ・チラシの配布	拡大 募集活動の充実 ・大学との連携強化
SNSの充実		新規 オンライン会議の開催 ・Zoom等の活用
	拡大 県選管SNSを活用した啓発 ・カウントダウン30 ・参院選プレイバック	拡大 県選管SNSの投稿充実 ・投稿数の増加や内容の充実
高齢者が利用できる制度の周知	継続 SNS広告の実施 ・ツイッター・YouTube・Instagram広告	
	継続 利便性の高い場所への投票所設置に向けた働き掛け ・管理執行通知や市区町村向けの説明会などにおける依頼	
	継続 移動支援に向けた働き掛け ・管理執行通知や市区町村向け説明会などにおける依頼	
	継続 予防対策等の周知 ・台風接近に伴う対応の通知 ・感染症対応に関する通知や他団体取組の情報提供	
自然災害や感染症などに向けた対応策の確立		新規 感染症への対応 ・投票に係る留意事項の周知 ・ホームページの充実
安心して投票できる環境の整備		

方向性		これまで	今後
安心して投票できる環境の整備	期日前投票所の増設	継続 利便性の高い場所への投票所設置に向けた働き掛け ・管理執行通知や市区町村向けの説明会などにおける依頼	
	不在者投票指定施設における投票の啓発	継続 不在者投票の取扱いに関する打合せ会の開催 ・不在者投票指定施設に向けた事務手続留意点などの説明実施	新規 不在者投票指定施設の啓発 ・指定施設への啓発用ポスター配布 ・指定施設一覧のHP掲載